

日本薬局方 130 周年記念シンポジウム —未来に向けた挑戦—  
プログラム (予定)

1. 日本薬局方 130 周年記念式典 9:30-10:20

司会：宮崎生子 (医薬品医療機器総合機構 規格基準部 部長)

式辞 武田 俊彦 (厚生労働省 医薬・生活衛生局長)

主催者挨拶 近藤 達也 (医薬品医療機器総合機構 理事長)

祝辞 橋田 充 (薬事・食品衛生審議会 日本薬局方部会 部会長)

祝辞 多田 正世 (日本製薬団体連合会 会長)

祝辞 太田 茂 (日本薬学会 会頭)

2. 日本薬局方 130 周年記念シンポジウム 10:20-17:20

司会：宮崎生子 (セッション1まで)

鹿野真弓 (医薬品医療機器総合機構 審議役 (次世代審査・科学委員会等担当)、セッション2以降)

1) 基調講演「日本の医薬品レギュレーションの発展と日本薬局方の歩み」

森 和彦 (厚生労働省 審議官 (医薬担当))

2) セッション1 日本薬局方の今後に向けた役割と期待

川西 徹 (国立医薬品食品衛生研究所 所長)

川俣 知己 (日本製薬団体連合会 薬局方委員会 委員長)

黒川 達夫 (日本製薬団体連合会 日本 OTC 医薬品協会 理事長)

津田 重城 (医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 専務理事)

3) セッション2 グローバル化の中での各国・地域薬局方の動向と今後の取組みについて

参加要請中 (European Pharmacopoeia)

参加要請中 (United States Pharmacopoeia)

参加要請中 (Chinese Pharmacopoeia Commission)

参加要請中 (Indian Pharmacopoeia Commission)

参加要請中 (Brazilian Pharmacopoeia)

宮崎 生子 (医薬品医療機器総合機構 規格基準部 部長, Japanese Pharmacopoeia)

4) セッション3 第7回世界薬局方会議の成果と展望

Dr. Sabine Kopp (World Health Organization)

5) ラウンドテーブルディスカッション 薬局方の今後のあるべき姿と薬局方の国際調和に向けて

ファシリテーター：川西 徹 (国立医薬品食品衛生研究所 所長)

パネリスト：セッション2,3 全登壇者

矢花 直幸 (医薬品医療機器総合機構 規格基準部 医薬品基準課長, Japanese Pharmacopoeia)

6) 閉会挨拶

山田 雅信 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課長)

※講演は英語または日本語、同時通訳付